

★漢方あれこれ★

◆回想法◆

風邪引いた！

太田 順康

先日のお婆さんたちの会話：「風邪引くとあかんで、蓋しっかり閉めとかな」と液状糊の蓋を閉めていました。お婆さんと云っても私と同じ80年代ですが。

湿布も、膏薬も、マッチも昔は風邪を引いていましたね。保管の仕方が悪く効果が無くなると風邪ひいてまったと破棄しました。

翻って10代の孫たちの会話：「チョコカッキー、マジデ、アケオメ」世代間格差は大きいですね。会話が成り立たない筈です。

全国的に通じると思っていた言葉が、岐阜だけでしか通じないと判ってショックを受けたことが多々あります。

机などの角の事をあなたはなんと言いますか。

「スミッコ」「ハシ・ハッシコ」「ハジ・ハジッコ」「クロ」まだ有りそうですが、私は「クロ」です。これも大阪では通じなかった言葉です。

机を動かす時「そっちかわつって」も通じませんでした。何気なく使う「たわけらしい」も大阪では激怒されました。大阪の「あほらしい」と同じニュアンスですけどね。「アホ」「バカ」「タワケ」は地域によって感じ方が違うことが岐阜を出て初めて知りました。

下記は、岐阜の年寄りたちが使っていた方言の数々です。判りますでしょうか？

「かがはゆい」「ヤットカメ」「アライマワシ」「メンボ」「クロニエ」「身体がエライ」「胸がズツナイ」「～ナモ」「～シテチョウ、エカ」等々。

「かがはゆい」顔が映ゆい→まぶしい。

「ヤットカメ」八十日目→久し振り。人の噂も75日より少し長いのが微妙ですね。

「アライマワシ」洗い回し→食事のあと食器などを洗って片付けること、マワシは根回しの意味か、相撲のマワシか判りませんが、準備をすることです。

「早よマワシしや～」は、「早く準備しなさい」の意味ですが、岐阜に住む孫たちにも通じなくなりました、

「メンボ」は、眼瞼炎、ものもらいのことです。

「クロニエ」は、皮下出血で青黒くなることです。

「エライ、エラカッタ」は疲れる、疲れた、「ズツナイ」胸苦しい、胸がザワザワする、不安になって胸が落ち着かないなどの意味があるようですが、標準語では適当な言葉がありません。



曜日と時間：毎週金曜日 10:30～

☆雨のときは、中止します。

☆お茶など飲み物を持参

<2月の予定>

10日(金) 17日(金) 24日(金)

お正月の暖かさはどこへやら、1月の半ばから急に冷え込み、寒い日が続いています。インフルエンザも流行っているようです。

でも松尾池のカモたちは元気を増したよう、数も増えて水に潜ったり、あちこち移動したり。

一番寒い時期ですが、私たちが季節の移ろいを感じながら、元気に歩きましょう。



§ 漢方相談日

(担当 太田順康：日本漢方交流会認定漢方終身師範。岐阜県漢方研究会会長。岐阜薬科大学「漢方学」講師)
今月の漢方相談日は、下記のように。

6日(月) 20日(月) 27日(月)

§ 2月の休診日

3日(金)

§ 甲状腺エコー検査を始めました。

ご希望の方は、受付までお申し出ください。

「～ナモ」所謂接尾語です。「アノナモ」「ホンデナモ」と使います。ね～、な～、位の意味だそうです。

私は南無阿弥陀仏の南無から来たと思いたいのですが無理ですか？

「～エカ」～してちょうだいエカ、頼みごとを強調する意味です。「良いですか」を軽い意味でつけますが、他の地域の人には命令形に聞こえるようです。満州で生まれ、神奈川で育った私の連れ合いは、何であの人に命令されないかんのと、怒っていました。

(つづく)